

「地域のかかりつけ医 まるき内科クリニック」

“薬師かわら版”

〒989-5625 栗原市志波姫堀口十文字1-1 TEL0228-24-8073 発行者 院長 鈴木 慎二



待合室



待合室コーナーは、糖尿病の予防や改善に向けた情報をお伝えします。

【痛風ってどんな病気？】

●ある日突然、足の親指に起こる激痛発作

痛風とは、ある日突然、足の親指などの関節が腫れて激痛に襲われる男性に多い病気です。この症状は発作的に起こることから「激痛発作」と呼ばれ、発作が起こると、2～3日は歩けないほどの痛みが続きます。その後、痛みは徐々にやわらいでいきますが、正しい診断や治療を受けずに放置していると、同じような発作が繰り返し起こり、発作を起こすたびに病態は悪化していきます。

●痛風の予備軍、高尿酸血症とは？

痛風の背後には、「高尿酸血症」という病気が潜んでいます。高尿酸血症とは、体内で作られる尿酸が増えすぎている状態です。尿酸は体の新陳代謝により発生する老廃物です。通常、体内の尿酸は産生と排出のバランスを保ちながら、一定の量に保たれるようになっていますが、尿酸が過剰に作られたり、排出がうまくいかなかったりすると、体内の尿酸は一定量を超えてしまいます。こうして血液中の尿酸の濃度が 7.0mg/dl を超えた状態が高尿酸血症です。

高尿酸血症は、それだけ自覚症状はありませんが、尿酸濃度が高い状態が続くと、血液に溶けきれなかった尿酸は結晶化して、関節や組織にたまっていきます。関節にたまった尿酸結晶に対して免疫細胞が反応し、炎症を起こして痛風となるのです。

※高尿酸血症になると狭心症や心筋梗塞など命に関わる重大な病気を起こすリスクも高まります。さらに、尿酸の結晶が尿路に詰まって尿管結石を起こしたり、腎臓に沈着して腎障害につながったりすることがあります。

痛風の危険因子は？

- ・ 過食
- ・ 多量の飲酒
- ・ 高カロリー
- ・ 運動不足
- ・ 動物性食品の取りすぎ



もうすぐ梅雨の時期がやってきます。

梅雨の時期は食中毒が増加する危険性があります。湿度や気温が上昇するため細菌が繁殖しやすくなります。

食材の温度管理や衛生管理を徹底しましょう。



掲 示 板



6/ 6 (金) 休診

6/23 (月) 休診

6/28 (土) 休診

その他の診療時間の変更はありません。